

子ども読書活動推進計画 令和元年度実施報告書

対象：家庭

実施主体	取組	事業名	事業内容の詳細・展開	取組状況	担当課
家庭	「家読（うちどく）」の実践	「家読」の啓発	「家読のススめ」チラシの発行や、図書館だより等への「家読」記事やおすすめの本を掲載することで、家読の意義や楽しさについて啓発を図る。	「家読のススめ」第7号を発行し、市内小学校・会津支援学校・聴覚支援学校会津校、障がい児通所施設へ配布した。あわせて、3月にこどもとしょかん内で「家読」のミニ展示を行った。	生涯学習総合センター（会津図書館）
		会津図書館の広報	年齢や様々な言語に応じた本の収集に努めるとともに、就学前の家庭教育講座や、図書館見学、職場体験等の機会をとらえ図書館利用について広報していく。	就学前健診時の家庭教育講座において、保護者に対し図書館の利用や「家読」について広報した。 児童の見学の際には、可能な限り貸出カードの作成を働きかけ、自動貸出機での貸出を体験してもらい、新規登録者の増加を図った。 中高生の職場体験や見学の際には、ティーンズコーナーやおすすめの本・ブックリスト等について広報を行った。また、職場体験やインターンシップの際には、おすすめの本のポップの作成をしてもらった。 ○見学の受入 ・小学校 19校 ・高等学校 1校 ・支援学校（高等部）1校 ・幼稚園 2園 ・障がい児通所施設 1ヶ所 ○職場体験、インターンシップの受入 ・中学校 3校 ・高等学校 5校 ・短大 1校 ・支援学校（高等部）1校 各種健康診査時に図書館利用について掲載したブックリストを配付し、利用促進を図った。	生涯学習総合センター（会津図書館）
		「こどもとしょかんだより」の発行・配布により、図書館のイベント、新刊図書・おすすめの本等を広報していく。	「こどもとしょかんだより」を4回（4・7・10・1月）発行し、館内配布のほか、市内小学校や会津支援学校・聴覚支援学校会津校、障がい児通所施設へ配布した。	生涯学習総合センター（会津図書館）	
		公民館図書室の広報	各「公民館だより」で、公民館図書室「図書コーナー」の紹介や新刊本の案内により、利用を促進する。	南公民館だより「南風」に図書室の案内と新刊本の案内を掲載し、周知を図った。また、門田地区地域行事一覧表の中にも図書室の案内と新刊本の案内を掲載し全戸に配布した。	南公民館
			公民館だよりで新刊本の案内を継続している。図書室内では新刊本全てを知ってもらえるように数冊ずつをクローズアップしたディスプレイを行っている。 以前からある図書についてはシーズンや行事等を意識した本をピックアップしディスプレイしている。		北公民館
			3回にわたり新刊本のお知らせを公民館だよりに掲載して広報活動を行った。		湊公民館
			河公だより（4/1・7/1号）で新着図書の紹介、予約リクエストサービス・あいづね号の河東地域運行表を掲載して地区へ配布、また、ロビー・図書室に新刊図書の案内を掲載し図書の利用促進を図った。		河東公民館
			公民館だより「びかりん通信」5、8、12月号に新刊案内を掲載し、おすすみや注目の本などPRに努めた。 5月号では談話室（図書室）のレイアウト変更について掲載した。		北会津公民館
			大戸公民館報「大戸岳」に図書コーナーの紹介や利用の仕方等を掲載し、再度利用者へ周知を図った。		大戸公民館
			大戸小学校児童等の施設見学时、図書コーナーを案内し利用を呼びかける。	大戸中学校生徒をボランティアとして受け入れ、ブックカバーの作業を体験してもらい、取扱いの方法を周知し、図書の利用を促した。	大戸公民館
			少年教室「小法師の学び舎」の公民館宿泊体験事業内で「ナイトライブラリ」として公民館図書室について紹介し、図書室利用の促進につなげることで読書の機会をつくっていく。	公民館宿泊体験時に「ナイトライブラリ」を開催し、図書室内の案内と、オリジナルしおり製作を夜の特別な雰囲気の中で行うことで、読書への関心を高めた。	南公民館
			学園キッズクラブにおいて、図書室を紹介し、利用を呼びかける。	学園キッズクラブの「夏休み移動教室」において、図書室を案内し、図書の利用促進を図った。	河東公民館
			門田小学校の「まちたんけん」を受け入れる中で、図書室を案内して利用を呼びかける。	門田小学校2学年の「まちたんけん」を受け入れるなかで、図書室を案内し、利用を呼びかけた。	南公民館
			第五中学校の職業体験を受け入れ、公民館の仕事の一部として図書室業務の体験により、図書室の利用促進を呼びかける。	第五中学校2学年の職業体験として2名の生徒を受け入れ、書架整理、おすすめの本コーナーの選定、レイアウト等の仕事を体験させるとともに図書室の利用促進を呼びかけた。	南公民館
			門田小学校の授業の一コマ「図書室に行ってみよう」で見学を受け入れ、利用促進を図った。	門田小学校2学年の見学を受け入れ、図書室の紹介と借り方、返し方などの詳しい紹介を行うことで利用促進につなげた。	南公民館
門田地区文化祭の中で、主催事業「ふれあい学級」によるオリジナルしおりづくりコーナーを開催し、読書機会の創出を図った。	主催事業「ふれあい学級」の参加者は、主に高齢者であることから、子どもとの世代間交流を図りながら、オリジナルしおりづくりをすることで、読書機会の創出を図った。	南公民館			
一箕小学校児童の「公民館訪問見学」を受け入れる中で、公民館図書室を案内し利用を促進する。	小学校の公民館訪問見学に合わせて公民館図書室を案内し、実際に本を手に取り触れてもらうことで、より身近な施設として親しみをもってもらうことにより利用促進につなげた。	一箕公民館			
東山小学校児童の「公民館見学」を受け入れる中で、図書コーナーを案内し利用を呼びかける。	小学校の「公民館見学」にあわせて図書コーナーを案内し、本に対する質問を受けるなどして、本に興味をもってもらうことにより、利用を呼び掛けた。	東公民館			
永和小学校児童の「公民館見学」を受け入れる中で、図書コーナーを案内し利用を呼びかける。	永和小学校児童の「公民館見学」を受け入れる中で、図書コーナーを案内し利用を呼びかけた。	北公民館			

「0歳からの絵本スタート」の実践	ブックスタート事業	4か月児健診時に乳児と保護者を対象とした、絵本の読み聞かせとともに絵本等を手渡すブックスタート事業を実施し、子育てにおける読み聞かせの重要性の啓発や、子どもの心と言葉の発達等の育成支援、また、家庭で絵本を介した豊かな時間をもつことで安心して子育てができる環境づくりの一助とする。	○対象者 令和元年度、市が実施する、4か月児健康診査時において、本市に住所を有する乳幼児及びその保護者 ○実施日・会場 4か月児健康診査を実施する日に北会津保健センター及び河東保健センター等で行う ○内容 ボランティアが絵本の読み聞かせを行い、読み聞かせの心地よさ、乳児期からの読み聞かせの大切さなどを保護者に伝えるとともに、絵本やアドバイスブックレットなどの入った「ブックスタート・パック」の配布を行った。 配布対象者 807人 (健診会場) ・配布数 763人 ・配布率 94.55% (訪問及び郵送等) ・配布数 11人 ・配布率 1.36%	こども家庭課 健康増進課 生涯学習総合センター (会津図書館)
	読書機会の提供	図書館が作成した絵本の年齢別ブックリストを、4か月児・1歳6か月児・3歳6か月児それぞれの健診会場および、7か月児離乳教室の会場において配布し、読書機会や情報を提供する。	年齢別ブックリストの配布 ・4か月児健診会場 100% ・1歳6か月児健診会場 100% ・3歳6か月児健診会場 100% ・7か月児離乳教室会場 100% ・合同健診会場 100%	健康増進課 生涯学習総合センター (会津図書館)
	会津図書館から配本される新刊本を、ブックトラックに別置きし、面白い絵本などを面出して興味を喚起する。	配本がある度に、大戸公民館報「大戸岳」に新刊本を載せて情報を提供したり、新刊本をブックトラックに別置きすることで、来館者が分かりやすく、手に取りやすくなった。	大戸公民館	
公民館図書室の環境整備	子どもを遊ばせたり読み聞かせが出来るスペースのほか、ソファや畳敷きのコーナーを設け、子どもたちや乳幼児とその保護者が本に親しみ、利用しやすい公民館図書室の環境を整備する。	ロビーや図書コーナーの配置を整備し、利用者が入館した際新刊本が目につきやすい場所に設置し、見出しをつけて興味を持ち、手に取りやすいようにした。 新刊本をブックトラックに別置きすることで、新刊本がわかりやすく、面白い絵本などを面だして興味を喚起した。	大戸公民館	
	子どもを遊ばせたり読み聞かせが出来るスペースを確保し、クッションや子ども用の遊具を設置することで、乳幼児とその保護者が本に親しみ、利用しやすい公民館図書室の環境を整備する。	蔵書を整理し、書架並びに本の配置を変更することにより一般、児童書を明確に区別することができた。 それにより子ども用スペースも既存より広く確保でき、クッションや遊具を設置するなど利用しやすい環境整備に努めた。 新刊図書については別に掲示するとともに一般、児童書とも「おすすめ図書」を選定しPRに努めた。	北会津公民館	
	気軽に本を手にとれるように新刊本や季節の本などのおすすめの本のディスプレイを行う。またお子様連れでも利用しやすいようなスペースを確保し、本に親しみやすい環境整備をこころがける。	新刊本やおすすめの本について引き続きディスプレイを行い、手に取りやすい工夫を施した。お子様連れの方にお声かけし、お子様の椅子を利用いただく等、滞在しやすい図書室づくりに努めた。	南公民館	
家庭	読み聞かせ事業	①「おはなし会」「かたりべ会」「赤ちゃんおはなし会」「おはなしのもり」 様々な絵本や語りに触れ合う機会を提供し、物語の楽しさや興味を広げきかけをつくる。 また、乳幼児向けのおはなし会では、絵本を介した親子のふれあいの楽しさを伝える。 ②「季節のおはなし会」 夏・冬・春 絵本や紙芝居の他に、パネルシアターや手遊び、工作など、多様な方法から物語の楽しさを伝え、本への興味を育て、読書へつなげる。 ③「絵本の音楽会」 5月 大きなスクリーンで絵本を見ながら朗読を聞き、併せてオーケストラの演奏を楽しむことで、豊かな時間を提供し、物語や音楽への興味を広げる。 ④「英語のおはなし会」「外国語のおはなしのへや」 日本語以外を母国語とする子どもを中心に、絵本の読み聞かせの楽しさを伝えるとともに、日本の子どもにも異なる文化や言語に触れる機会を提供し、読書への興味を広げる。	①毎月定例のボランティアによるおはなし会を開催。 ・おはなし会(毎日曜日) 45回 ・かたりべ会(第2・4土曜日) 19回 ・英語のおはなし会(毎月第1日曜日) 6回 ・おはなしのもり 16回 ②赤ちゃんおはなし会(第1・3木曜日) 20回 ③季節のおはなし会 2回開催。 夏 7月6日(土) 参加:25名 冬 12月14日(土) 参加:51名 ※春 3月14日(土)は新型コロナウィルス対策のため、中止。 ④子どもの読書週間行事『絵本の音楽会』 6月18日開催(参加:139名) スクリーンで絵本の映像を観ながら朗読を聞き、あわせて音楽を楽しむことで、絵本の魅力や物語の楽しさを伝えた。 ⑤共催による「外国語のおはなしのへや」を2回開催。 夏 6月23日(日) 参加:47名 冬 2月23日(日) 参加:74名 おはなし会の開催によって、参加者へ読書の楽しさを伝えた。 また、イベントに関連する本の展示や紹介を行うことで、読書への興味を引き出し、貸出の増加につながった。	生涯学習総合センター (会津図書館)
「読書関連イベント」への参加	読み聞かせ(放課後子ども教室事業)	各「放課後子ども教室」事業において、地域の方々の参画を得て、絵本の読み聞かせ、民話等の語りにより、読書機会を提供する。	放課後子ども教室「永和いなほキッズ」において、全41回中6回、民話の語りや紙芝居、絵本の読み聞かせを地域の方々の協力により実施した。 外国文化を知るプログラムの中で外国語の読み聞かせの絵本として図書室の本を利用する機会があった。 放課後こども教室のひとコマで地域の方からの読み聞かせ、民話の語りを実施するとともに、オリジナルしおりづくりを行い、読書への関心を高めるべく取り組んだ。 放課後子ども教室「まつながっ子1455」において1回、「昔がたり」を地域の方々の協力により実施した。 放課後子ども教室「東チャレンジクラブ」において全21回の内、夏休み期間中を除く14回、地域ボランティアによる絵本の読み聞かせを行い、読書機会の提供に努めた。	北公民館 南公民館 一箕公民館 東公民館
	第6回会津図書館を使った調べる学習コンクール	小学生を対象とし、図書館の本を利用して調べる学習に取り組み、まとめた作品を募集する。調べるテーマ探しや、調べ方・まとめ方を学ぶ講座を開催するとともに、学校に対してはテーマ別の「学校支援図書セット」や「調べる学習コンクール支援セット」を貸し出すことにより、子どもが主体的に学ぼうとする意欲の醸成と、情報を活用する力の養成に取り組む。	・応募作品82点、うち受賞作品19点(市長・市議会議長・教育長賞各3点、佳作10点)、学校賞2校。 全国コンクールへの推薦作品2点は、奨励賞と佳作を受賞。 ○推進に向けた取組 ①調べる学習講座 6・7月 低学年向2回、中・高学年向1回 調べ学習のテーマ探しや、調べる学習の進め方やまとめ方についての講座を行い、作品作りを行った。 参加者:児童32名、保護者25名 ②最終審査会 10月24日 ③表彰式・展示会 11月16日 ④大熊町地域コンクールとの合同作品展 2月28日～3月30日 ※小学校や児童・保護者へ向けた取組により、応募作品数・応募校数が増え、作品の質が向上した。 ※セット貸出利用実績 12回	生涯学習総合センター (会津図書館) 学校教育課

家庭	「読書関連イベント」への参加	第6回会津ピリオパトル(知的書評合戦)	中高生を対象とし、本を読んで感じた思いや魅力などを紹介し、発表を聞いて一番読みたくなかった本に投票することで、読書活動の充実と思考力、表現力の育成とプレゼンテーション能力の向上に取り組む。	開催日:9月16日(金・祝) 対象:中学生、高校生 発表者:中学生11名、高校生3名 観戦者:63名 高校生の発表者は昨年より1名増えたが、少ないため、ゲスト発表となった。中学生の発表者はやや減り、観戦者は昨年度と同数だった。決戦では、おすすめする本を自分の言葉で紹介し、観戦者の「読みたい気持ち」を引き出すための創意工夫があり、論理的思考力やプレゼンテーション能力の向上が図られた。人から紹介されることで今まで知らなかった本を読んでみたくなったという声も聞かれ、中高生の読書活動の推進が図られた。 ※ピリオパトル出前講座:2回実施	生涯学習総合センター(会津図書館)
	読み聞かせの実践	絵本の読み聞かせ講座	「生涯学習出前講座」のメニューの一つとして、市民が開催する学習会や勉強会にて、読み聞かせのポイントや絵本の選び方の説明、読み聞かせの実践を行い、地域で活動するボランティアの育成を図り、読み聞かせへの理解を深める。	申込数:2件 ①会津学風高等学校 対象:読み聞かせボランティアに関心を持つ高校生 ②こども保育課 対象:市内保育施設の職員	生涯学習総合センター

【指標(数値目標)】

(会津図書館調べ)

項目	現況値(平成26年度)	実績値(令和元年度)	最終目標値(令和2年度)
「0歳からの絵本スタート」の実施割合	59%	61%	70%
「読み聞かせ」実施の割合 園児 保護者	83%	87%	90%
「家読(うちどく)」実施の割合 小学2年生 保護者	42%	47%	60%
家読(うちどく)実施の割合 中学2年生 保護者	19%	26%	40%

※現況値については、平成26年度会津図書館実施アンケートによる数値であり、最終目標値に対する実績値については令和元年度アンケート実施による数値となる。

【指標(数値目標)】

(会津図書館調べ)

項目	現況値(平成26年度)	実績値(令和元年度)	目標値(令和2年度)
こども(18歳まで)の登録者の割合	34.2%	49.9%	40.0%
児童書の貸出冊数	159,279冊	161,261冊	170,000冊
中高校生への貸出冊数	15,110冊	15,748冊	20,000冊

【指標(数値目標)】

(地区公民館調べ)

項目	現況値(平成26年度)	実績値(令和元年度)	目標値(令和2年度)
こども(18歳まで)の年間利用人数	1,352人	722人	1,500人
公民館事業で「読み聞かせ」等を取り入れた回数	46回	24回	55回

子ども読書活動推進計画 令和元年度実施報告書

対象:保育所・幼稚園・認定こども園等

実施主体	取組	事業名	事業内容の詳細・展開	取組状況	担当課
保育所・認定こども園・幼稚園等	保護者等への「読み聞かせ」や「家読」の重要性の広報啓発	「園だより」等による読書活動の推進	お便りにより、保護者や子育て支援参加者に対し、乳幼児期からの「読み聞かせ」の重要性や楽しさと施設での読書活動の取り組みの様子を知らせる。	絵本コーナーの設置やお便りを通して、子どもたちが絵本に親しむ活動の様子や、絵本の紹介をし、読み聞かせの大切さを知らせた。(実施園:31施設、96.9%)	こども保育課
		「継続的な読み聞かせ」の実施と推進	絵本を保育所等と家庭で繰り返し読み聞かせをしていくことで、絵や言葉、内容等、絵本への関心を深め、効果的な読み聞かせを推進する。	保育の中での絵本の読み聞かせの他、保育参観など行事の場面で読み聞かせ等を実施し保護者への啓蒙や家庭での読書活動に関心を持たせた。また、支援が必要な児童に対し、1対1での対応等も行った。(支援を必要とする子どもへの読書活動実施園21施設、65.6%)	こども保育課
		「読み聞かせ講座」広報	保育所等を通じて保護者への「読み聞かせ講座」受講を働きかけ、各保育所等において読み聞かせを実施できるボランティアの育成を図り、読み聞かせの大切さを広報する。	市内幼稚園・保育園を通じて全保護者へチラシを配布し、講座の周知を行った。また、市内幼稚園・保育園へポスター掲示を依頼した。	生涯学習総合センター(会津図書館)
		昔ばなしの口演	園児を対象とした「湊かたりべの会」会員による昔ばなし	湊しらとり保育園からの依頼により、月1回、午前中に、地域の方がボランティアで、園児に昔ばなしを聴かせる時間を設けた。	湊公民館

【指標(数値目標)】

項目	現況値(平成26年度)	実績値(令和元年度)	目標値(令和2年度)
お便りによる読書活動啓発を1年間に4回以上実施した園の割合	49%	47%	75%

子ども読書活動推進計画 令和元年度実施報告書

対象：学校

実施主体	取組	事業名	事業内容の詳細・展開	取組状況	担当課	
学校	「家読(うちどく)」の広報啓発	「メディアコントロール」等の活用による「家読」の推進	「メディアコントロール」等の活用による時間を読書に当てることや、家族と「家読」をすることについて、学校関係の会議において奨励する。	各中学校区の小・中学校で組織される小中連携会議において、家庭での過ごし方について共通理解を図り、「メディアコントロール」等の活用と関連させた「家読」の実施を呼びかけた。また、取組確認シートを用いて、各校での取組の契機づくりに努めた。	学校教育課	
	学校図書館の活用しやすい環境の整備	学校図書館の所蔵冊数の充実	学校図書館用の図書購入費について、各校の学級数等に応じた予算配分を行うほか、年に1回蔵書数調べを実施し、所蔵冊数を把握し、所蔵冊数の充実に努める。	学校図書館用の図書購入費について、年度初めに各校の学級数等に応じた予算配分を行った。また、年度末に各校の所蔵冊数や廃棄状況等を把握するため、蔵書数調べを実施した。	教育総務課	
		学校図書館ボランティア養成講座を開催し、学校図書館で活動できるボランティアを養成する。	学校図書館の環境充実	小中学校に対し、学校図書館ボランティア養成講座を受講した学校図書館ボランティアの活用を促す。	6月に全3回の講座を開催。資料の分類・排架、修理・整備、書架サインや展示コーナーの作り方について、講義と実演を行った。今年度は、若松第二中学校図書ボランティアの方を講師に招き、学校図書館活動状況や読み聞かせについてお話をいただいた。 参加者数：27名(東山小：3名、一箕小：2名、城北小：2名、目新小：3名、謹教小：3名、鶴城小：1名、城南小：1名、河東学園小：4名、若松二中：3名、河東学園中：2名、学校図書館支援員：3名)	生涯学習総合センター(会津図書館)
			学校図書館ボランティア養成講座を受講した学校図書館ボランティアの活用を促す。	学校図書館ボランティア養成講座の受講について各学校に参加を呼びかけ、新たに中学校2校の参画があった。その結果、学校図書館支援員やボランティア経験者だけでなく、新規の保護者が研修会に参加し、スキルアップに繋げることができた。	学校教育課	
			会津図書館奉仕員が小中学校図書館を巡回訪問し、司書教諭等に対し、助言、支援を行う。	小学校12校、中学校9校を訪問。「学校図書館管理マニュアル」に則り、司書教諭・学校図書館支援員へ図書管理の助言・支援を行った。河東学園小学校についてはその他、ラベル整備のために1回訪問を行った。また、永和小学校と相談し、学校図書館の整備作業の補助のため、6回訪問を行った。	生涯学習総合センター(会津図書館)	
	学校図書館支援員の配置	学校図書館の充実のため、学校図書館支援員の配置校を拡大し、読書好きな児童生徒を増やすとともに、言葉や学び、語彙を増やし、感性を磨き、豊かな想像力や表現力、読解力を育む。	6名の学校図書館支援員を市内29校に配置し、1校につき週1回程度の勤務を5月より開始した。本の整理や補修、掲示物の作成など学校図書館の環境整備を中心に、授業のための資料提示など、読書に親しむ児童生徒の育成や図書館教育支援に努めてきた。	学校教育課		
	「朝読」活動の充実に向けた取組	「朝読」の推進	各小中学校への「朝読」の時間確保や、「読書記録カード」等を利用した内容の充実に向けた指導を行う。	全ての小中学校で朝の読書に取り組んでいる。小学校では週1～2回・10分程度、中学校では週5回・10分程度の取組が多かった。読書記録カードを活用している学校は、小学校89.5%、中学校27.3%であった。使用しない理由としては、「感想を記入する時間の確保が難しい」との回答が多い状況である。	学校教育課	
		読み聞かせタイム	湊小学校において、地域団体「湊かたりべの会」や地域の住民が小学校へ出向き、かたりべや読み聞かせ、紙芝居などの活動を朝の時間に行い、「朝読」の充実に取り組む。	小学校からの依頼により、地区住民ボランティアが小学校1～3年生を対象に朝の時間を利用してかたりべ、読み聞かせを行うとともに、小学校4～6年生の図書委員会委員への読み聞かせ指導を行った。	湊公民館	

【指標(数値目標)】

項目	現況値(平成26年度)	実績値(令和元年度)	目標値(令和2年度)
小中学生の1か月間の平均読書冊数	小学生 11.6冊 中学生 2.6冊	小学生 9.7冊 中学生 2.5冊	小学生 14.0冊 中学生 4.0冊
学校図書館図書標準を達成している学校数	小学校 12/19 中学校 7/11	小学校 19/19 中学校 9/11	小学校 15/19 中学校 10/11
図書館ボランティアが参画している学校数	小学校 9/19 中学校 1/11	小学校 17/19 中学校 6/11	小学校 14/19 中学校 6/11

子ども読書活動推進計画 令和元年度実施報告書

対象：支援を必要とするこども・家族

実施主体	取組	事業名	事業内容の詳細・展開	取組状況	担当課
障がい児通所施設・養護学校等	「家読(うちどく)」の広報啓発	「家読」の啓発	「家読のススメ」チラシの発行、こどもとしよかんたより等へ「家読」記事や、おすずめの本を掲載し、「家読」の意義や楽しさについて啓発を図る。	「家読のススメ」第7号を発行し、市内小学校・会津支援学校・聴覚支援学校会津校、障がい児通所施設へ配布を行った。	生涯学習総合センター(会津図書館)
	一人ひとりに合った「読み聞かせ」等の実施	「読み聞かせ講座」広報	通所施設を通じて保護者やボランティアへの「読み聞かせ講座」受講を働きかけ、地域において読み聞かせを実施できるボランティアを育成し、活用することで、読み聞かせの機会を提供する。	会津支援学校・聴覚支援学校会津校、障がい児通所施設へポスターの掲示依頼を行った。会津支援学校・聴覚支援学校会津校については、全保護者へのチラシの配布も依頼した。	生涯学習総合センター(会津図書館)
	連携による読書活動の推進	情報交換によるニーズ把握	障がい児通所施設やその利用者の読書に対するニーズを把握し、図書館へ情報提供をしていく。	施設に対して要望等がある場合はご相談いただくよう案内しているが、今年度は新たな要望等は聞かれなかった。	こども家庭課
		図書館情報の発信	①通所施設等に対し、図書館等の利用や絵本や紙芝居の貸出等について広報していく。 ②通所施設等の利用者に対し、通所施設等を通して、会津図書館利用案内や子ども向けイベント等の情報を発信し、図書館情報を広報する。	こども家庭課では、図書館からの情報を通所事業所、相談支援事業所に配布して、広報活動に取り組んだ。 図書館では、①②ともに、ポスターやチラシを配布し、広報を行った。 見学受入：2件 会津支援学校(高等部)1回 夢の樹こもれび(生活介護事業所)1回	こども家庭課 生涯学習総合センター(会津図書館)
		障がいのある子どもを対象とした「おはなし会」の開催	通所施設等と連携し、おはなし会を開催する。	障がいのある子どもを対象とした「おはなし会」は開催に至らなかったが、主催行事の「絵本の音楽会」へ、障がい児通所施設「ふらっぶ」の児童約15名が来場された。	生涯学習総合センター(会津図書館)
支援学校等への移動図書館の運行	県立会津支援学校や県立聴覚支援学校会津校へ月1回移動図書館を運行し、児童生徒に対し読書の機会を提供をする。	移動図書館利用計画に則り、今年度は8回運行を実施した。(4～7月、9～12月運行) 貸出冊数：401冊	生涯学習総合センター(会津図書館)		

【指標(数値目標)】

(会津図書館調べ)

項目	現況値(平成26年度)	実績値(令和元年度)	最終目標値(令和2年度)	説明
障がいのある子どもを対象としたおはなし会開催回数	0回	0回	年間6回	図書館等におけるおはなし会の開催回数
子どもと保護者が一緒に読書をした(家読の)割合	51%	32%	60%	家庭で子どもと保護者が読書を楽しんだか